

【令和8年第1回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

2月4日測定の結果、主灰が20ベクレル、飛灰が350ベクレルでした。なお、飛灰については、9月に薬106トン、10月に約104トン、11月に約84トン、12月に約86トン、1月に約120トンの合計500トンの処分を行っております。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

2月4日測定の結果、主灰が500ベクレル、飛灰が12,000ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

2月2日測定の結果、56ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年度の処理状況については、2月12日現在で、549頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○光陽クリーンセンター、衛生センター、一里壇斎苑、松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○本年1月末日までの受診状況について

入院患者は、延べ31,127人で、前年と比較して366人、率で1.2%減少しております。外来患者は、延べ78,585人で、前年と比較して191人、率で0.2%減少しておりますが、整形外科と婦人科では、常勤医師、非常勤医師の増員により、外来患者が増加しております。

○院内発熱外来者 及び夜間休日の発熱患者数について

令和7年12月は、503人、うち、コロナ陽性者24人、インフルエンザ陽性者104人。

令和8年1月は、471人、うち、コロナ陽性者25人、インフルエンザ陽性者65人。

季節性インフルエンザの陽性者が、増加いたしました。

2月は、12日現在で、203人、うち、コロナ陽性者13人、インフルエンザ陽性者49人で、特に、B型インフルエンザの陽性者数が増加傾向にあります。

公立相馬総合病院といたしましては、高齢者や感染リスクの高い入院患者が多いことから、外来患者や訪問者を含め、病院内に立ち入るすべての方に対し、引き続き、マスクの着用と面会制限をお願いしているところです。